

～「LRRI メルマガ」令和8年（2026年）8月号～

★「役員&会員だより」令和8年8月号をお届けしました

本号は、「プレキャストコンクリートの可能性と若手教育について」と題して、賛助会員・昭和コンクリート工業(株)の津野田真さまに執筆いただきました。ホームページにも掲載していますので、ご意見をお寄せいただければ幸いです。なお、引き続き会員の皆様のご投稿をお待ちしております。ご希望の方は、事務局（staff@lrri.or.jp）までお気軽にご一報ください。

★「土木技術資料」（令和8年8月号, Vo.68, No. 8）が届いています

「土木技術資料」8月号の目次をご案内致します。以下の URL から抄録がご覧になれます。

<https://www.pwrc.or.jp/wnew2608.html#mokuji>

★令和8年度総会&交流会を開催します（再掲）

下記の予定で総会と交流会を開催します。詳細は追ってご案内致します。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◆日時：令和8年8月28日（金）

・総会 13:15 ～ 14:15

・交流会 14:40 ～16:50

◆場所：Zoomによるオンラインで開催

【プログラム】＜総会司会＞ （LRRI 副代表理事兼事務局長 伴 夏男）

〇トピック1：小林 薫（茨城大学）

防災・環境並びに CO₂ 固定化に貢献する貝殻を活用した柔構造透水型表面被覆工の開発の試み

〇トピック2：中山貴弘（積水化成品工業(株)）

近年の都市緑化事情と環境対策製品エスレンブロック RNW

〇トピック3：土橋和敬（前田工繊(株)）

BU ウォール工法のご紹介

〇トピック4：関谷勇太（ナカダ産業(株)）

「セル型グラベルマット」に関する紹介

〇トピック5：常田賢一（LRRI 顧問）

令和8年熊本地震の報道からの雑感

○質疑，総合討論&まとめ：コーディネーター LRRI 代表理事 安原一哉

○閉会の辞 LRRI 副代表理事 岸田隆夫

★設立6周年記念フォーラムを開催します（再掲）

建設産業の新しい方向性を探るイベントしたいと考えています。講演とパネルディスカッションの2本立てを予定しています。

◆日時：令和8年11月25日（金）13:00-17:00

◆場所：未定

◆方式：オンサイトとオンラインのハイブリッド（予定）

◆講演：

- ・演題：建設ネイチャーポジティブ～国内外で進むグリーンインフラ（NbS）の実践～
- ・演者：中村圭吾様（国立研究開発法人土木研究所 流域水環境研究グループ長）

なお、講演後のパネルディスカッションは計画中（パネラーとコメンテーターもお招きします）です。

詳細は決まり次第、再度ご案内致します。

【注】NbS とは？：NbS（Nature-based Solutions）とは、自然生態系が持つ機能を活用して、気候変動や災害などの社会的課題を解決するアプローチです。日本語では「自然を活用した解決策」や「自然に根ざした解決策」と訳され、生物多様性の保全と人間の幸福（ウェルビーイング）を両立させる手法として世界的に注目されています。

★横須賀で開かれる『『ブラフ積み擁壁』と『猿島』の研修会』に参加されませんか？！

地盤品質判定士会 神奈川支部は、令和8年10月9日(金)に「横須賀市の坂道とブラフ積み擁壁巡検・猿島探訪研修会」を開催します。LRRIも後援して、3名の参加枠をいただいています。地盤品質判定士・同 補が対象ですが、LRRIからご希望の方も、「ユーザー登録」をすることで参加できます。ご興味のある方は、次のURL

(<https://shop.hanteishi.org/workshop/2026082114771/>) で、上記「巡検・研修会」の『概要』をご覧ください。

中段の「お申込みの方はこちらから」で、併せて、「ユーザー登録」もできます。その下段に『詳細』な「公開版 開催案内」が添付されています。京浜急行「横須賀中央駅」9:45集合、16:20解散予定。参加費：¥3,300(税込み,要 事前振込)。別途、猿島渡船乗船料¥2,100が必要です。解散後に、懇親会(自由参加)も予定されています。

当日は、「擁壁」・「地形」の専門技術者が引率・説明をいたします。なお、希望者が多い場合は、調整ないしお断りする場合があります。【お問合せ先：staff@lrri.or.jp（岸田隆夫、LRRI 副代表理事）】